

# English Compass for Students

2nd Edition



みなさんは **Compass(羅針盤)**を知っていますか。大航海時代、船が目的地にたどり着くための進行方向を決定するために大きな役割を果たしました。Compass の発明のおかげで、安心して航海することができました。

この'English Compass'が、小学校での英語学習の振り返りと中学校での英語学習の方向を指し示す案内役となり、中学校での学習をスムーズに進めることができるよう期待します。

\_\_\_\_\_ Junior High School

Grade 1 Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_

Name \_\_\_\_\_

# 1 時間目

Date \_\_\_\_\_

## Let's start!

さあ、いよいよ中学校での英語学習が始まります。  
今から2時間の英語のオリエンテーション授業をします。小学校で学習した英語を復習することを通して、できるようになったことを自己チェックします。そして、中学校での勉強の仕方、学習のゴールを学びましょう。

1. 英語であいさつしてみましょう。



2. 先生の自己紹介を聞いて、質問に答えましょう。



3. 自己紹介をしましょう。

班ごとに (一人20秒で) する。

Hello. I'm _____.	(名前)
I like _____.	(好きな物)
I can _____.	(できること)
Thank you.	

「英語でできるようになったことリスト」で自己診断 できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

1 【話すこと】

友だちに簡単な自己紹介をすることができる。

### CAN-DO

中学校では

小学校で学習した like や can に加えて、さらにくわしく自己紹介ができるようになります。

4. 友達に好きかどうかをインタビューして、○×を書きましょう。

A: I like sushi. Do you like sushi?

B: Yes, I do. / No, I don't. But I like pizza.



	sushi (すし)	pizza (ピザ)	cake (ケーキ)	tomato juice (トマトジュース)
例: Ken	○	×	○	×

「英語でできるようになったことリスト」で自己診断 できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

2 【話すこと】	友達に好きかどうかたずねたり, 質問にYes/No で答たりすることができる。(Yes./No. だけでも◎)	
----------	---------------------------------------------------------	--

### CAN-DO

#### 中学校では

自分の好きなことについて話したり, 相手に好きなことについてたずねたりすることを学習します。そして, 好きなことだけでなく, play (～する), study (勉強する), write (書く), know (知っている), want (～がほしい) などの動詞も学習して, 相手にいろいろなことをたずねることができるようになります。

### 英語を学ぶ前に 1

**Why do you study English? なぜ, 英語を勉強するのか?**



### 英語を学ぶ前に 2

**What do you want to do? 英語を使って何をしたいですか?**



### 英語学ぶ前に 3

**英語の授業の準備物**

## 2時間目

Date \_\_\_\_\_

### 英語の学び方 1

### 英語の授業のルール

- |            |               |
|------------|---------------|
| ① Listen.  | よく聞く          |
| ② Think.   | よく考える         |
| ③ Repeat.  | 繰り返し練習する      |
| ④ Express. | 自分のことや考えを表現する |



5. (1) アルファベットの大文字と小文字を読んでみましょう。

(2) 左右の大文字と小文字を線でつないでみましょう。

- |     |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|
| ① E | ・ | ・ | b | ア |
| ② I | ・ | ・ | i | イ |
| ③ H | ・ | ・ | r | ウ |
| ④ L | ・ | ・ | e | エ |
| ⑤ F | ・ | ・ | q | オ |
| ⑥ B | ・ | ・ | f | カ |
| ⑦ Q | ・ | ・ | h | キ |
| ⑧ R | ・ | ・ | l | ク |



(3) アルファベットの大文字と小文字を **A~Z**, **a~z** まで順番に書いてみましょう。

大文字 **A~Z**

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

小文字 **a~z**

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

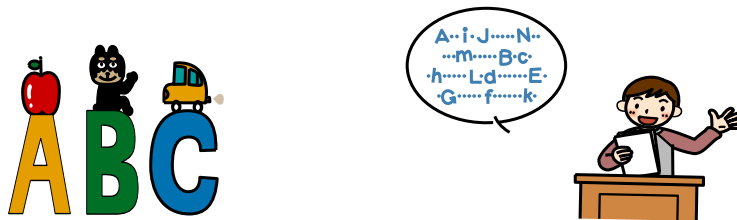
**「英語でできるようになったことリスト」で自己診断** できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

3	【読むこと】	書かれたアルファベットの大文字と小文字を読むことができる。	
4	【書くこと】	アルファベットの大文字と小文字を順番どおりに書くことができる。	

**CAN-DO**

中学校では

大文字と小文字は、小学校で書いたり読んだりすることをかなりしています。まずは文字の名前を覚えて形の特徴をとらえ、4線上に正確に書けるようにしましょう。特に小文字は高さに注意しましょう。bとd, fとt, pとqは、形のちがいにも気をつけましょう。gとgのように、印刷物の文字と手書きの文字の書き方がちがうものも注意しましょう。



6. 先生の英語を聞いて、それぞれの音と右の単語を線で結んでみましょう。

- |   |   |                     |
|---|---|---------------------|
| ① | ・ | ・ (ア) DVD           |
| ② | ・ | ・ (イ) bus           |
| ③ | ・ | ・ (ウ) table         |
| ④ | ・ | ・ (エ) comic book    |
| ⑤ | ・ | ・ (オ) soccer player |
| ⑥ | ・ | ・ (カ) video game    |



**「英語でできるようになったことリスト」で自己診断** できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

5	【聞くこと】	日常生活の身近なものについて、音声（発音された音）とつづりを結び付けることができる。	
---	--------	--------------------------------------------	--

**CAN-DO**

中学校では

つづりと発音（発音された音）の関係にも、少しずつ慣れることが大切です。基本的な発音を少しずつ覚えていきましょう。文字と音の基本的なルールを覚えると、知らない単語を読むことができるようになりますし、書くこともできるようになります。

7. 次の英語の文を書いてみましょう。名前ところに自分の名前をローマ字で書いてみましょう。

**Good morning.**

---

---

---

**I'm (名前).**

---

---

---

**英語でできるようになったことリスト」で自己診断** できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

6 【書くこと】	英語の書き方のきまりに合わせて正しく文を書くことができる。 (人名や地名, 文頭は大文字, 単語と単語の間は少し離す, 文の最後はピリオドかクエスチョンマークをつける。)	
----------	------------------------------------------------------------------------------------------	--

### CAN-DO

中学校では

単語が読めるようになったら, 何も見ないで自分の力で書けるようにしなければいけません。何も見ないで書いた後は, 正しく書けているかどうか確認しましょう。



## 英語の学び方 2

### 英和辞書の使い方

英和辞書からは様々な情報が得られます。英和辞書をひくと, こんなことを調べることができます。

- ・ 発音やアクセント(強く発音する)の位置がわかる。
- ・ 単語の意味がわかる。
- ・ 例文の中でその単語の使い方を示している。
- ・ ◆印や赤字などによって, 単語の重要度が示されている。
- ・ 辞書には, 品詞(動詞, 名詞, 形容詞など)が書かれている。
- ・ 単語の意味以外にも, 文化情報なども書かれている。



### 英語の学び方 3

中学校では、特に「書くこと」についての復習が大切です。英語の単語が書けるといふ状態は、何も見ないで書ける状態を言います。小学校では、「見て書き写す」でよかったのですが、中学校では自分の力で書けるようになることが求められます。

そのために家庭学習では、

- ①自分でテストしてみる（何も見ないで書いてみる）
- ②自己点検
- ③間違ったところ、書けなかったところを練習して書けるようにする
- ④自分で再テストしてみる



というサイクルを繰り返しましょう。「分かること」と「できる」ことは違います。家で復習をするためには、授業中にしっかり聴いて、声を出して読めるようにしておくことが必要です。読むことができないことは書けませんよ。Do your best! (ベストを尽くして!)



### 英語の学び方 4

中学校3年間の英語学習への見通しをもちましょう。

#### 小学校の英語学習では

「聞くこと」「話すこと（やり取り・発表）」を中心に英語に親しみ、「読むこと」「書くこと」にも少しふれてきました。

#### 中学校では

「読むこと」「書くこと」も本格的に学習がスタートして、「聞くこと」「話すこと（やり取り・発表）」「読むこと」「書くこと」の4つの技能（5つの領域）をバランスよく学習するようになります。自己紹介や、自分の1日の生活、将来の夢、自分の町、日本文化の紹介などについて話し、話したことをもとに自分の力で正確に書くことができるようになります。そして、物語、地理、歴史、スポーツ、環境問題、人権や平和などさまざまなジャンルについての英文を読むことができるようになります。

中学校での英語学習のスタートです。  
英語を学ぶことを通じて、新しい世界や人々に出会いましょう。







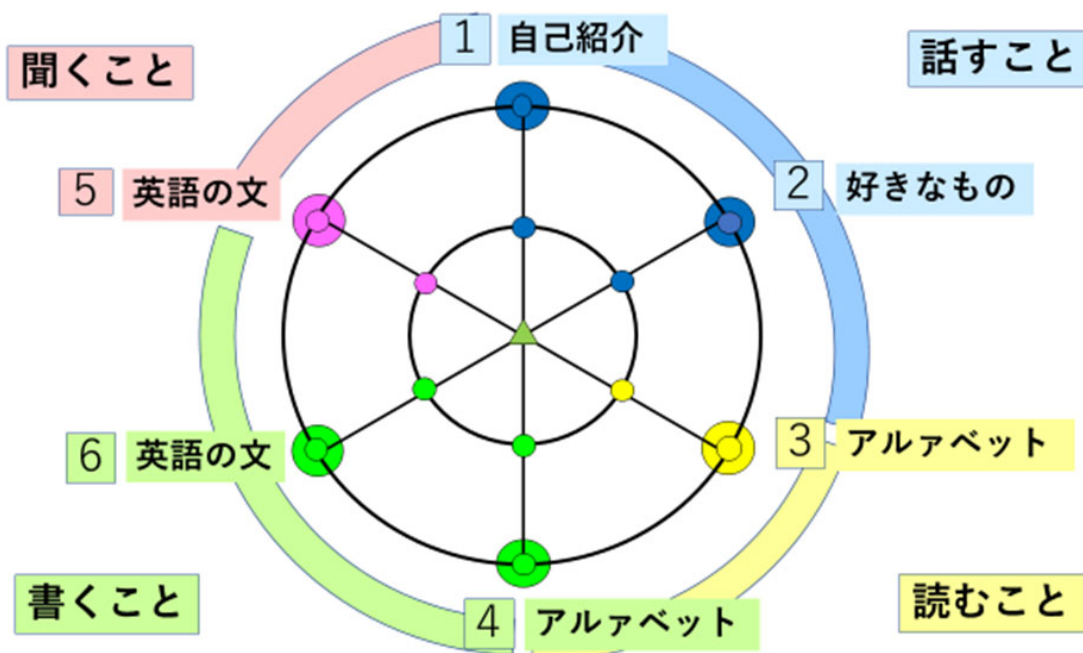
# 英語オリエンテーション授業の振り返り

1年( )組( )番 氏名( )

## 英語のできるようになったことリスト

できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

1	【話すこと】	友だちに簡単な自己紹介をすることができる。	
2	【話すこと】	友達に好きかどうかたずねたり, 質問にYes/Noで答たりすることができる。(Yes./No. だけでも◎)	
3	【読むこと】	書かれたアルファベットの大文字と小文字を読むことができる。	
4	【書くこと】	アルファベットの大文字と小文字を順番どおりに書くことができる。	
5	【聞くこと】	日常生活の身近なものについて, 音声(発音された音)とつづりを結び付けることができる。	
6	【書くこと】	英語の書き方のきまりに合わせて正しく文を書くことができる。(人名や地名, 文頭は大文字, 単語と単語の間は少し離す, 文の最後はピリオドかクエスチョンマークをつける。)	



☆英語のできるようになったことリストの結果を見て, 今の自分の英語について気づいたこと, これから取り組みたいことについて書きましょう。